

プログラム

大会長講演

7月23日(土) 8:50~9:20 A会場

座長：田中 英登(横浜国立大学・第25回大会大会長)

「自律神経刺激と身体適応」

井福 裕俊(熊本大学・第24回大会大会長)

特別講演

7月23日(土) 13:00~13:50 A会場

座長：井福 裕俊(熊本大学・第24回大会大会長)

「運動生理学に期待するもの —障がい者スポーツ(車いすマラソン)の立場から—」

山本 行文(熊本機能病院顧問・車いすマラソン元日本記録保持者)

招待講演

7月24日(日) 11:00~11:50 A会場

座長：大石 康晴(熊本大学)

「スポーツ愛好者からトップアスリートまでのメディカルサポート —スポーツ医の立場から2020以降を見据えて—」

井本 光次郎(熊本赤十字病院整形外科・国際オリンピック委員会認定専門)

教育講演1

7月23日(土) 14:00~14:50 A会場

座長：宮林 達也(熊本学園大学)

「運動学習強化に役立つ筋疲労の活用とその神経生理学的意義 —二連発経頭蓋磁気刺激法の基礎と応用を含めて—」

丸山 敦夫(新潟医療福祉大学)

「短時間高強度運動がもたらす生理学的効果」

荻田 太(鹿屋体育大学)

「骨格筋の質的・量的変化を制御する分子メカニズムの探求」

S1-1 運動が引き起こすエピジェネティクスと骨格筋の適応性変化

河野 史倫 松本大学

S1-2 骨格筋の修復・再生の分子メカニズム
～サテライト細胞の運命選択と部位特異性の分子基盤～

小野 悠介 長崎大学大学院

S1-3 骨格筋量調節におけるリボソーム生合成の役割

小笠原 理紀 名古屋工業大学大学院

「運動がもたらす脳への可塑的な変化 — 認知機能への効果 —」

S2-1 運動による認知機能向上を支える神経-血管系の適応

西島 壮 首都大学東京大学院

S2-2 運動時の脳内糖代謝と認知機能

松井 崇 筑波大学

S2-3 一過性運動と認知機能

安藤 創一 電気通信大学大学院

S2-4 習慣的運動・体力と子供の認知機能

紙上 敬太 早稲田大学

「循環系とその調節機構の重要性を再認識する」

- S3-1 セントラルコマンドによる運動時骨格筋血流量の調節
石井 圭 産業技術総合研究所、日本学術振興会特別研究員
- S3-2 暑熱環境下における循環調節
芝崎 学 奈良女子大学
- S3-3 運動時の眼底循環の応答とその機能的意義
池村 司 早稲田大学
- S3-4 運動時の反射性循環調節 — 圧受容器反射を中心に —
一之瀬 真志 明治大学

「運動生理学分野におけるミトコンドリア研究の最前線」

- S4-1 骨格筋のミトコンドリア呼吸機能とミオグロビン
増田 和実 金沢大学
- S4-2 PGC-1 α 新規アイソフォーム発見と骨格筋への影響
三浦 進司 静岡県立大学
- S4-3 PGC-1 α の発現を誘導するストレスレスな運動 protocol
田中 宏暁 福岡大学
- S4-4 温熱刺激による骨格筋ミトコンドリアの適応
田村 優樹 日本体育大学

「運動生理学におけるヒト神経系研究の最新トピック
～ヒトの巧みな動作を支える神経適応能～」

- S5-1 中枢神経系に表現される関節間の協調関係とその運動学習による再編成
平野 雅人 広島大学
- S5-2 運動トレーニングが二重課題遂行中の皮質脊髄路の興奮性に与える影響
福本 寛之 清和大学
- S5-3 Plastic changes in the athletes' brain アスリートの脳に生じる
可塑的变化
山代 幸哉 新潟医療福祉大学
- S5-4 ヒト脊髄内の代替神経機構を強化する運動機能の回復戦略
中島 剛 杏林大学

※熊本地震緊急企画

この度の熊本地震に関する企画を企画中です。
詳細は、近日中に大会ホームページに掲載しますので、ご確認ください。

ランチョンセミナー1

7月23日(土) 12:00~12:50 A会場

「糖電解質飲料の役割 ―成分的特徴と期待される効果―」

只野 健太郎(大塚製薬株式会社 ニュートラシューティカルズ事業部)

協賛：大塚製薬株式会社

ランチョンセミナー2

7月24日(日) 12:00~12:50 A会場

「アスリートへの栄養サポートの実際と震災に対して
スポーツ栄養が果たす役割 ～森永製菓の事例を基に～」

清野 隼(森永製菓株式会社 ウィダートレーニングラボ)

協賛：森永製菓株式会社